

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 6 月 26 日 (2014.6.26)

【公表番号】特表 2012-515085 (P2012-515085A)

【公表日】平成 24 年 7 月 5 日 (2012.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2012-026

【出願番号】特願 2011-546332 (P2011-546332)

【国際特許分類】

B 0 1 J 29/74 (2006.01)

B 0 1 D 53/94 (2006.01)

F 0 1 N 3/10 (2006.01)

F 0 1 N 3/28 (2006.01)

F 0 1 N 3/24 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 29/74 Z A B A

B 0 1 D 53/36 1 0 4 B

F 0 1 N 3/10 A

F 0 1 N 3/28 3 0 1 E

F 0 1 N 3/24 E

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 12 日 (2014.5.12)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ディーゼルエンジンからの排ガス放出物を処理するための層状ディーゼル酸化触媒複合体であって、

ディーゼル酸化触媒材料、キャリア支持体を含み、

この触媒材料は、パラジウム成分を含み、及び以下の層、

少なくとも 1 種の分子篩を含み、且つ実質的にパラジウムを含んでいない炭化水素トラップ層；

実質的に分子篩を有せず、及び実質的に酸素貯蔵成分を有せず、パラジウム成分が高表面積の耐火金属酸化物支持体の上に設けられている、パラジウム成分を含むパラジウム含有層；

を含み、

触媒材料が、任意に、キャリア支持体の上及びこれらの層の下側に設けられた下側被覆層を含み；及び

触媒材料が、更に、少なくとも 1 種の炭化水素トラップ層及び任意の下側被覆層中に設けられた酸素貯蔵成分を含む、

ことを特徴とする層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 2】

触媒材料は、パラジウム成分を、 $5 \sim 75 \text{ g / f t}^3$ ($0.18 \sim 2.65 \text{ kg / m}^3$) の量で含むことを特徴とする請求項 1 に記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 3】

触媒材料が、更に、白金成分を、 $10 \text{ g / f t}^3 \sim 150 \text{ g / f t}^3$ ($0.35 \sim 5.3$

$0 \text{ kg} / \text{m}^3$) の範囲で含み、白金成分の 20 質量% 以下の量が少なくとも 1 つの分子篩中に組み込まれ、及び白金成分の少なくとも 80 質量% が、パラジウム含有層の、高表面積の耐火金属酸化物支持体の上に存在することを特徴とする請求項 1 又は 2 の何れかに記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 4】

パラジウム - 含有層が、Pt と Pd を、 $0.1 / 1 \sim 10 / 1$ の Pt / Pd 割合で含むことを特徴とする請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 5】

酸素貯蔵成分が、 ZrO_2 、 CeO_2 、又は両方を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 6】

酸素貯蔵成分が、Y、La、Nd、Sm、Pr、及びこれらの混合物の少なくとも 1 種を含む OSC 変性剤を含むことを特徴とする請求項 5 に記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 7】

貴金属成分の合計装填量が $15 \sim 225 \text{ ft}^3 (0.53 \sim 7.95 \text{ kg} / \text{m}^3)$ の範囲であることを特徴とする請求項 1 ~ 7 の何れか 1 項に記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 8】

パラジウム含有層が、キャリア支持体の上に設けられ、及び炭化水素トラップ層がパラジウム含有層の上に設けられていることを特徴とする請求項 1 ~ 7 の何れか 1 項に記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 9】

高表面積の耐火金属酸化物を含む下側被覆層を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 8 の何れか 1 項に記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 10】

下側被覆層を含み、及び下側被覆層と炭化水素トラップ層の両方が、独立して、酸素貯蔵成分を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 9 の何れか 1 項に記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 11】

キャリア支持体が流通基材であることを特徴とする請求項 1 ~ 10 の何れか 1 項に記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 12】

パラジウム含有層が下側被覆層の上に設けられ、及び炭化水素トラップ層がパラジウム含有層の上に設けられ、

炭化水素トラップ層がベータゼオライト、ガンマアルミナ、及び白金を含み；

パラジウム - 含有層が、更に白金及びガンマアルミナを含み、及び Pt / Pd 割合が $4 / 1 \sim 1 / 2$ の範囲であり；及び

下側被覆層がガンマアルミナ、及び任意にパラジウムを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体。

【請求項 13】

排ガス流が、炭化水素、一酸化炭素、及び他の排ガス成分を含み、

排ガス流を、請求項 1 ~ 12 の何れか 1 項に記載の層状ディーゼル酸化触媒複合体と接触させることを含む、ディーゼルエンジンの排ガス流を処理する方法。

【請求項 14】

更に、ディーゼル排ガス流を、一回以上、ディーゼル酸化触媒複合体の下流側に設けられた煤フィルター、及び触媒化煤フィルター (CSF) の上流又は下流に設けられた選択性触媒還元 (SCR) 触媒性物品に案内することを含む請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

炭化水素、一酸化炭素、及び他の排ガス成分を含むディーゼルエンジン排ガス流を処理

するためのシステムであって、

ディーゼルエンジンと排ガスマニホールドを介して流体連結している排ガス導管；

前記キャリア支持体が、流通基材又は壁流基材である、請求項 1 ～ 12 の何れか 1 項に記載のディーゼル酸化触媒複合体；及び

複合体と流体的に連結している、以下の：煤フィルター、選択的触媒還元（SCR）触媒物品、及び NO_x 貯蔵及び還元（NSR）触媒物品の 1 つ以上、

を含むシステム。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0025

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0025】

高表面積耐火性金属酸化物は、20 よりも大きい孔を有し、及び孔分布が広い支持体粒子である。ここに定義されるように、このような金属酸化物支持体は、分子篩、特定的にはゼオライトを除外する。高表面積耐火金属酸化物支持体、例えばアルミナ支持体材料（「ガンマアルミナ」又は「活性化アルミナ」とも称される）は、典型的には、BET 表面積が、1 グラム当たり 60 平方メートル（ $60 \text{ m}^2 / \text{g}$ ）を超え、しばしば $200 \text{ m}^2 / \text{g}$ まで、又はこれを超える。このような活性化アルミナは、通常、アルミナのガンマ及びデルタ層の混合物であるが、しかし、エータ、カップ、及びシータアルミナ相を実質的な量で含んでも良い。使用する触媒中の少なくとも幾つかの触媒成分のために、活性化アルミナ以外の耐火金属酸化物を支持体として使用することができる。例えば、バルクセリア、ジルコニア、アルファアルミナ、又は他の材料がこのような用途のために公知である。これらの材料の多くが、活性化アルミナと比較して、BET 表面積が相当に小さいという短所を有しているにもかかわらず、この短所は、得られた触媒の耐久性が良好であることによって相殺される傾向にある。「BET 表面積」は、 N_2 吸着による表面積の測定のための、Brunauer, Emmett, Teller 法を参照する通常の意味を有する。孔径及び孔体積は、BET-type N_2 吸着を使用して測定可能である。望ましくは、活性アルミナは、比表面積が $60 \sim 350 \text{ m}^2 / \text{g}$ 、及び典型的には $90 \sim 250 \text{ m}^2 / \text{g}$ である。耐火酸化物支持体上の搭載量（積載量）は、好ましくは約 $0.1 \sim 6 \text{ g} / \text{in}^3$ （約 $0.0061 \sim 0.366 \text{ g} / \text{cm}^3$ ）、より好ましくは約 $2 \sim 5 \text{ g} / \text{in}^3$ （約 $0.122 \sim 0.305 \text{ g} / \text{cm}^3$ ）、及び最も好ましくは約 $3 \sim 4 \text{ g} / \text{in}^3$ （約 $0.183 \sim 0.244 \text{ g} / \text{cm}^3$ ）である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0042

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0042】

このようなモノリスキャリア支持体は、断面の 1 平方インチ当たり、約 900 以上の流路（又は「セル」）を含んでも良く、これより少ないものを使用されても良い。例えば、キャリア支持体は、約 $50 \sim 600$ 、より一般的には、約 $200 \sim 400$ （“cpsi”）のセルを 1 平方インチ当たり有していても良い。セルは、長方形、正方形、円、楕円形、三角形、六角形、又は他の多角形状を有することが可能である。流通基材は、典型的には、壁厚さが $0.002 \sim 1$ インチ（ $0.00508 \sim 2.54 \text{ cm}$ ）の範囲である。好ましい流通基材は、壁厚さが $0.002 \sim 0.015$ インチ（ $0.00508 \sim 0.0381 \text{ cm}$ ）の範囲である。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0046

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0046】

耐火性酸化物支持体の搭載量は、DOCについて、好ましくは約 $0.1 \sim 約 6 \text{ g / in}^3$ (約 $0.0061 \sim 約 0.366 \text{ g / cm}^3$)、より好ましくは約 $0.5 \sim 約 5 \text{ g / in}^3$ (約 $0.0305 \sim 約 0.305 \text{ g / (2.54 cm)}^3$)、及び最も好ましくは、約 $2 \sim 約 4 \text{ g / in}^3$ (約 $0.122 \sim 約 2.44 \text{ g / cm}^3$) 及びCSFについて約 $0.2 \sim 約 1.0 \text{ g / in}^3$ (約 $0.0122 \sim 約 0.061 \text{ g / cm}^3$) である。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0054

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0054】

触媒組成物の合計搭載量は、ディーゼル酸化触媒について、約 $1 \sim 300 \text{ g / ft}^3$ (約 $35.3 \sim 10594 \text{ g / m}^3$) の範囲であっても良く、この範囲は、好ましくは約 $10 \sim 約 200 \text{ g / ft}^3$ (約 $353 \sim 約 7063 \text{ g / m}^3$) であり、及び触媒化された煤フィルターについて、好ましくは約 $1 \sim 100 \text{ g / ft}^3$ (約 $35.3 \sim 3531 \text{ g / m}^3$) の範囲である。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0064

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0064】

Ptが層(LO-2)中に存在する場合、Ptの量は、約 $1 \sim 50 \text{ g / ft}^3$ (約 $35.3 \sim 1766 \text{ g / m}^3$) の範囲であることが好ましく、約 $2 \sim 15 \text{ g / ft}^3$ (約 $70.6 \sim 530 \text{ g / m}^3$) の範囲であることがより好ましい。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0066

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0066】

Pdが層(LO-2)中に存在する場合、Pdの量は、約 $1 \sim 30 \text{ g / ft}^3$ (約 $35.3 \sim 1059 \text{ g / m}^3$) の範囲であっても良く、及び約 $2 \sim 15 \text{ g / ft}^3$ (約 $70.6 \sim 530 \text{ g / m}^3$) の範囲であることがより好ましい。

【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0080

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0080】

典型的には、公知のゼオライトの任意のものが使用可能である。ゼオライトは、天然又は合成ゼオライト、例えばフォージャサイト、菱沸石、クリノプティロライト、モルデナイト、シリカライト、ゼオライトX、ゼオライトY、超安定ゼオライトY、ZSM-5ゼオライト、ZSM-12ゼオライト、SSZ-3ゼオライト、SAPO5ゼオライト、オフレイト、又はベータゼオライトであることができる。好ましいゼオライト吸着剤は、シリカのアルミナに対する割合が高いものである。ゼオライトは、シリカ/アルミナモル割合が、少なくとも約25/1、好ましくは少なくとも約50/1、通常では約25/1

～1000/1の範囲、50/1～500/1、及び約25/1～300/1の範囲、約100/1～250/1であっても良く、又は替わりに約35/1～180/1も例示される。好ましいゼオライトは、ZSM、Y及びベータゼオライトを含む。特に好ましい吸着剤は、US6171556に開示されたタイプのベータゼオライトを含んでも良い。ゼオライトの搭載量(loading)は、十分なHC貯蔵容量を保証し、及び低温貯蔵の後の温度傾斜の間、貯蔵したパラフィンの解放が早過ぎることのないように、 0.3 g/in^3 (0.0183 g/cm^3) よりも小さいものであるべきではない。ゼオライト成分の含有量は、 $0.4 \sim 0.7 \text{ g/in}^3$ ($0.0244 \sim 0.0427 \text{ g/cm}^3$) の範囲であることが好ましい。ゼオライトからの芳香族化合物とパラフィンの解放が早過ぎると、CO及びHC点火の遅延を引き起こす。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0128

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0128】

1. 触媒の製造

1.1 $120 \text{ g} / (0.30480 \text{ m})^3$ 1/1 (OSCを有するPt/Pdテクノロジー) : (サンプルA)

第1(底部)層のために、硝酸パラジウム溶液を 0.75 g/in^3 (0.0458 g/cm^3) の高多孔性γ-アルミナに加え、 30 g/ft^3 (1059 g/m^3) Pdを得た。得られたフリット(frit)を水と酸(例えば酢酸)中に分散させた。このスラリーに、 0.75 g/in^3 (0.0458 g/cm^3) のOSC材料(ZrO_2 : 45wt%、 CeO_2 : 45wt%、 La_2O_3 : 8wt%、 Pr_6O_{11} : 2wt%)を分散させ、そして7マイクロメートルの粒子サイズ d_{90} にミルした。最終的なスラリーをモノリス上に被覆し、110 で乾燥させ、そして空気中で450 で焼した。

【誤訳訂正10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0129

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0129】

第2(中間)層のため、 1.5 g/in^3 (0.0915 g/cm^3) の高多孔性γ-アルミナを硝酸パラジウムの水溶液で含浸させ、 30 g/ft^3 (1059 g/m^3) という最終的な乾燥Pdを得た。得られた粉を水中に分散させた。白金がアンミン安定化Pt錯体としてのものであるPt溶液を加え、 52 g/ft^3 (1836 g/m^3) の乾燥内容物を得た。スラリーのpHを4.5に調節した後、スラリーを16μmの粒子サイズ d_{90} にミル(粉碎)した。このスラリーを、次に第1層上に被覆し、110 で乾燥させ、そして空気中で450 で焼した。

【誤訳訂正11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0130

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0130】

第3(頂部)層のために、 0.25 g/in^3 (0.0153 g/cm^3) の高多孔性γ-アルミナ、 0.5 g/in^3 (0.0305 g/cm^3) のOSC材料(ZrO_2 : 45wt%、 CeO_2 : 45wt%、 La_2O_3 : 8wt%、 Pr_6O_{11} : 2wt%)、 0.5 g/in^3 (0.0305 g/cm^3) のH-ベータゼオライト及び 8 g/ft^3 (282.5 g/m^3) の白金を与えるアンミン安定化Pt錯体としてのものである白金を、水と

酸（例えば酢酸）中に分散させた。このスラリーを、 $15\text{ }\mu\text{m}$ の粒子サイズ d_{90} にミルし、そして次にモノリス上に被覆し、 110°C で乾燥させ、及び空気中で 450°C で焼させた。

【誤訳訂正 1 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 1】

$1.2120\text{ g} / (\underbrace{0.30480\text{ m}})^3 \times 2 / 1$ (OSCを有するPt/Pdテクノロジー) : サンプルB)

第1(底部)層のために、 $0.25\text{ g} / \text{in}^3 (\underbrace{0.0153\text{ g} / \text{cm}^3})$ の高多孔性 γ -アルミナ及び $0.75\text{ g} / \text{in}^3 (\underbrace{0.0458\text{ g} / \text{cm}^3})$ のOSC材料(ZrO_2 : 45 wt%、 CeO_2 : 45 wt%、 La_2O_3 : 8 wt%、 Pr_6O_{11} : 2 wt%)を水及び酸（例えば酢酸）中に分散させ、そして8マイクロメートルの粒子サイズ d_{90} にミルした。最終的なスラリーをモノリス上に被覆し、 110°C で乾燥させ、そして空気中で 450°C で焼した。

【誤訳訂正 1 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 2】

第2(中間)層のため、 $1.5\text{ g} / \text{in}^3 (\underbrace{0.0915\text{ g} / \text{cm}^3})$ の高多孔性 γ -アルミナを硝酸パラジウムの水溶液で含浸させ、 $40\text{ g} / \text{ft}^3 (\underbrace{1.413\text{ g} / \text{m}^3})$ という最終的な乾燥Pdを得た。得られた粉を水中に分散させた。白金がアンミン安定化Pt錯体としてのものであるPt溶液を加え、 $\text{Pt } 72\text{ g} / \text{ft}^3 (\underbrace{2.542\text{ g} / \text{m}^3})$ の乾燥内容物を得た。スラリーのpHを4.5に調節した後、スラリーを $16\text{ }\mu\text{m}$ の粒子サイズ d_{90} にミルした。このスラリーを、次に第1層上に被覆し、 110°C で乾燥させ、そして空気中で 450°C で焼した。

【誤訳訂正 1 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 3】

第3(頂部)層のために、 $0.25\text{ g} / \text{in}^3$ の高多孔性 γ -アルミナ、 $0.5\text{ g} / \text{in}^3 (\underbrace{0.0305\text{ g} / \text{cm}^3})$ のOSC材料(ZrO_2 : 45 wt%、 CeO_2 : 45 wt%、 La_2O_3 : 8 wt%、 Pr_6O_{11} : 2 wt%)、 $0.5\text{ g} / \text{in}^3 (\underbrace{0.0305\text{ g} / (2.54\text{ cm})^3})$ のH-ベータゼオライト及び $8\text{ g} / \text{ft}^3 (\underbrace{2.83\text{ g} / \text{m}^3})$ の白金を与えるアンミン安定化Pt錯体としてのものである白金を、水と酸（例えば酢酸）中に分散させた。このスラリーを、 $15\text{ }\mu\text{m}$ の粒子サイズ d_{90} にミルし、そして次にモノリス上に被覆し、 110°C で乾燥させ、及び空気中で 450°C で焼させた。

【誤訳訂正 1 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 4】

$1.3120\text{ g} / (\underbrace{0.30480\text{ m}})^3 \times 2 / 1$ (OSCを有しないPt/Pdテクノロジー)

ロジー、比較例) : サンプル C)

第 1 (底部) 層のために、 $1 \text{ g} / \text{in}^3 (0.0610 \text{ g} / \text{cm}^3)$ の高多孔性 γ - アルミナを水及び酸 (例えば酢酸) 中に分散させ、そして 15 マイクロメートルの粒子サイズ d_{90} にミルした。最終的なスラリーをモノリス上に被覆し、110 で乾燥させ、そして空気中で 450 で焼した。

【誤訳訂正 16】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0135

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0135】

第 2 (中間) 層のため、 $1.5 \text{ g} / \text{in}^3 (0.0915 \text{ g} / \text{cm}^3)$ の高多孔性 γ - アルミナを硝酸パラジウムの水溶液で含浸させ、 $40 \text{ g} / \text{ft}^3 (1413 \text{ g} / \text{m}^3)$ という最終的な乾燥 Pd を得た。得られた粉を水中に分散させた。白金がアンミン安定化 Pt 錯体としてのものである Pt 溶液を加え、 $\text{Pt } 72 \text{ g} / \text{ft}^3 (2543 \text{ g} / \text{m}^3)$ の乾燥内容物を得た。スラリーの pH を 4.5 に調節した後、スラリーを 16 μm の粒子サイズ d_{90} にミルした。このスラリーを、次に第 1 層上に被覆し、110 で乾燥させ、そして空気中で 450 で焼した。

【誤訳訂正 17】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0136

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0136】

第 3 (頂部) 層のために、 $0.25 \text{ g} / \text{in}^3 (0.0153 \text{ g} / \text{cm}^3)$ の高多孔性 γ - アルミナ、 $0.5 \text{ g} / \text{in}^3 (0.0305 \text{ g} / \text{cm}^3)$ の H - ベータゼオライト及び $8 \text{ g} / \text{ft}^3 (283 \text{ g} / \text{m}^3)$ の白金を与えるアンミン安定化 Pt 錯体としてのものである白金を、水と酸 (例えば酢酸) 中に分散させた。このスラリーを、15 μm の粒子サイズ d_{90} にミルし、そして次にモノリス上に被覆し、110 で乾燥させ、及び空気中で 450 で焼させた。

【誤訳訂正 18】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0137

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0137】

2. 従来技術触媒テクノロジーと本テクノロジーの状態の比較 (HC / CO 活性性能の試験)

試験サンプル :

2.1 サンプル A :

以下の :

- 第 1 層 : $30 \text{ g} / \text{ft}^3 (1059 \text{ g} / \text{m}^3)$ の Pd、 $0.75 \text{ g} / \text{in}^3 (0.0458 \text{ g} / \text{cm}^3)$ の OSC、 $0.75 \text{ g} / \text{in}^3 (0.0458 \text{ g} / \text{cm}^3)$ の高多孔性 γ - アルミナ

- 第 2 層 : $52 \text{ g} / \text{ft}^3$ の Pt、 $30 \text{ g} / \text{ft}^3 (1059 \text{ g} / \text{m}^3)$ の Pd、 $1.5 \text{ g} / \text{in}^3 (0.0915 \text{ g} / \text{cm}^3)$ の高多孔性 γ - アルミナ

- 第 3 層 : $8 \text{ g} / \text{ft}^3 (283 \text{ g} / \text{m}^3)$ の Pt、 $0.25 \text{ g} / \text{in}^3 (0.0153 \text{ g} / \text{cm}^3)$ の高多孔性 γ - アルミナ、 $0.5 \text{ g} / \text{in}^3 (0.0305 \text{ g} / \text{cm}^3)$ の H - ベータゼオライト、 $0.5 \text{ g} / \text{in}^3 (0.0305 \text{ g} / \text{cm}^3)$ の OSC

を含む 3 層触媒を試験した。

【誤訳訂正 19】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0138

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0138】

2.2 サンプル B :

以下の :

- 第1層 : $0.75 \text{ g} / \text{in}^3 \left(\frac{0.0458 \text{ g}}{\text{cm}^3} \right)$ の OSC、 $0.25 \text{ g} / \text{in}^3 \left(\frac{0.0153 \text{ g}}{\text{cm}^3} \right)$ の高多孔性 γ - アルミナ

- 第2層 : $72 \text{ g} / \text{ft}^3 \left(\frac{2543 \text{ g}}{\text{m}^3} \right)$ の Pt、 $40 \text{ g} / \text{ft}^3 \left(\frac{1413 \text{ g}}{\text{m}^3} \right)$ の Pd、 $1.5 \text{ g} / \text{in}^3 \left(\frac{0.0915 \text{ g}}{\text{cm}^3} \right)$ の高多孔性 γ - アルミナ

- 第3層 : $8 \text{ g} / \text{ft}^3 \left(\frac{283 \text{ g}}{\text{m}^3} \right)$ の Pt、 $0.25 \text{ g} / \text{in}^3 \left(\frac{0.0153 \text{ g}}{\text{cm}^3} \right)$ の高多孔性 γ - アルミナ、 $0.5 \text{ g} / \text{in}^3 \left(\frac{0.0305 \text{ g}}{\text{cm}^3} \right)$ の H - ベータゼオライト、 $0.5 \text{ g} / \text{in}^3 \left(\frac{0.0305 \text{ g}}{\text{cm}^3} \right)$ の OSC
を含む3層触媒を試験した。

【誤訳訂正 20】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0139

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0139】

2.3 サンプル C : (比較例)

以下の :

- 第1層 : $1 \text{ g} / \text{in}^3 \left(\frac{0.0610 \text{ g}}{\text{cm}^3} \right)$ の高多孔性 γ - アルミナ

- 第2層 : $72 \text{ g} / \text{ft}^3 \left(\frac{2543 \text{ g}}{\text{m}^3} \right)$ の Pt、 $40 \text{ g} / \text{ft}^3 \left(\frac{1413 \text{ g}}{\text{m}^3} \right)$ の Pd、 $1.5 \text{ g} / \text{in}^3 \left(\frac{0.0915 \text{ g}}{\text{cm}^3} \right)$ の高多孔性 γ - アルミナ

- 第3層 : $8 \text{ g} / \text{ft}^3 \left(\frac{283 \text{ g}}{\text{m}^3} \right)$ の Pt、 $0.25 \text{ g} / \text{in}^3 \left(\frac{0.0153 \text{ g}}{\text{cm}^3} \right)$ の高多孔性 γ - アルミナ、 $0.5 \text{ g} / \text{in}^3 \left(\frac{0.0305 \text{ g}}{\text{cm}^3} \right)$ の H - ベータゼオライト、

を含む3層触媒を試験した。